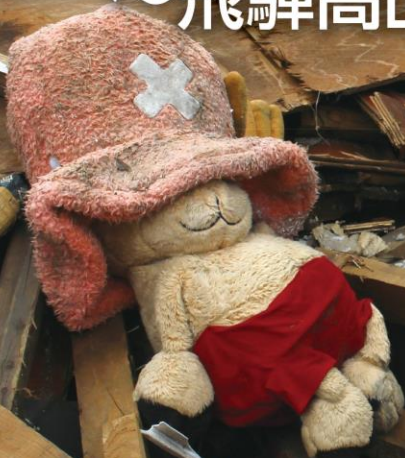


岐阜大学防災シンポジウム

～飛騨高山の地震に備える～



写真提供:熊本地震 清流の国ぎふ防災・減災センター

日時 平成28年 11月2日(水) 13:00～17:00

会場 ひだホテルプラザ (JR高山駅:徒歩5分)
高山市花岡町2丁目60番地

岐阜県には震度7が想定される「高山・大原断層帯、跡津川断層帯、阿寺断層帯、養老-桑名-四日市断層帯」をはじめ多くの活断層があります。


本年4月の熊本地震から多くの教訓を学び、学術的知見に基づき岐阜県の防災・減災をみなさんと共に考えます。

プログラム


12:30	開場
13:00	開会式 森脇久隆(岐阜大学学長) 國島芳明(高山市長)
13:20	基調講演 「20XX年の地震に今すぐ備える、今から備える」 能島暢呂(岐阜大学工学部教授)
14:00	熊本地震等現地報告 「災害時におけるこころのケア」 板倉憲政(岐阜大学教育学部助教) 「熊本地震における岐阜DMATの活動について」 吉田隆浩(岐阜大学併任講師、岐阜DMAT) 「熊本地震の避難所から」 小山真紀(岐阜大学流域圏科学研究センター准教授)
15:10	休憩・交流タイム
15:30	ワークショップ 「自分と家族は自分で守る、自分たちの地域はみんなで守る」 高木朗義(岐阜大学工学部教授) 岩茸伸一(高山市民防災研究会会長)
16:50	閉会式 杉戸真太(岐阜大学副学長)


岐阜県の活断層

凡例

確実度Ⅰ 
活断層であることが確実なもの

確実度Ⅱ 
活断層であると推定されるもの

確実度Ⅲ 
活断層の可能性があるが、変位の向きが不明であったり、他の原因で形成された疑いの残るもの

伏在断層 
沖積層下に伏在する活断層の推定位置



※活断層線については、活断層研究会編「新編 日本の活断層—分布図と資料」(東京大学出版会発行1991年)を参照した。



岐阜大学防災シンポジウム 飛騨高山の地震に備える

申込方法

参加希望の方は、住所、氏名を下記①か②によりお申込みください。

入場料無料

① メール: gfbosai@gifu-u.ac.jp

② 電話: **058-293-3890** (清流の国ぎふ防災・減災センター)

定員210名になり次第、締め切らせていただきます。

なお、無料バスを岐阜県庁から高山会場まで用意しております。

バス利用を希望される方は、「清流の国ぎふ防災減災センター」ホームページを参照の上申願います。(先着25名)
(<http://gfbosai.sakura.ne.jp/web/>)

締め切り 10月28日(金)



国立大学法人
岐阜大学

